

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ほとんどの児童が、表現及び鑑賞の活動に意欲的に取り組むことができた。
- ・手や体全体を働かせて材料や用具にかかわりながら表したいことを見付け、つくり出す喜びを味わうことができている。

(2) 課題

- ・造形活動に意欲的に取り組むことができるが、表したことから、さらに考えて表現をよりよくするために工夫するなど、考えを深めることについて課題がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○手や体全体の感覚を働かせて材料や用具を使うことができるよう、発達段階に合わせた材料や用具の使い方を提示し、身に付けられるようにする。	○自分や友達の活動や、作品の中からよさを見付けることができるよう、活動や、鑑賞の時間での取り組み方を工夫する。	○一人一人の活動や、作品のよさを認め、それぞれの児童が思いをもって活動に取り組めるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○児童が様々な材料や用具、表し方を積極的に試しながら自分の表してみたいことを表現することができるようにする。	○児童が、自分の表したいことからさらに発想や、見方や感じ方を広げることができるよう、題材の流れや、発想の広げ方について工夫して提示する。	○児童がすすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうことができるよう、題材の提示や、活動の流れを工夫する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○これまでの経験を生かしつつ、材料や用具を自分の表現したいように活用することができるよう、材料・用具の特徴やよさについて気付けるように指導を行う。	○児童が、自分の表したいことからさらに発想や、見方や感じ方を広げることができるよう、題材の流れや、発想の広げ方について工夫して提示する。	○児童がすすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組む、つくりだす喜びを味わうことができるよう、題材の提示や、活動の流れを工夫する。